平成30年度新学術領域研究“脳タンパク質老化と認知症制御”

研究者の研究成果発表のための短期海外派遣　募集要項

新学術領域研究“脳タンパク質老化と認知症制御”では、平成30年度「研究者の研究成果発表のための短期海外派遣」を募集します。

1． 派遣の対象となる若手研究者：

派遣の対象となる研究者は、原則として一定の研究能力及び当該応募領域においてポジションを有する研究者とする。大学院生が応募する場合は、当該領域における国際活動支援班の目的、計画に基づき、その必要性・妥当性の説明が必要である。学会参加の場合、派遣対象者は発表者とする。

2． 派遣期間： 10日未満

学会・シンポジウムなどの開催期間を基準とする。他の目的のために派遣期間が延びることは認めない。

例：学会開催期間が4月12日—14日であれば、最長で出発日4月11日、帰着日4月15日（時差の関係で4月16日になることは可）。これより長期となる場合は、その理由を申請書の該当欄に明記するものとする。派遣期間は年度をまたがないこと。

3． 派遣者数：

平成30年度の派遣者数は10名程度。

4． 派遣費用：

派遣に要する旅費・日当及び宿泊料等は、上限を30万円として名古屋大学の定める出張経費支給基準に基づき支給する。

注：　学会登録料（参加費）支給しない。

5． 派遣手続：

（1） 若手研究者の研究成果発表のための海外派遣を希望する者は下記の書類を提出する。

ア. 派遣申請書 (様式1、2)

様式1には、推薦者（新学術領域研究計画班員或いは公募研究者）の自筆署名、捺印の上、データを電子メールの添付書類として国際活動班事務局宛に送付すること。

注１：　身分によっては雇用規定に抵触し、派遣が難しい場合もあるため、申請書には職名と雇用財源の記入をお願いします。

注２：　様式1，2とも印刷したものを、新学術領域研究・国際活動支援班事務局まで郵送する必要はありません。

1. アクセプトされたことが証明できるように、プログラム等、応募者の

名前が載った参加を証明できる書類のコピーを送付する。

6. 申請書類提出期限

原則として出発の2ヶ月以上前とする。

＊何らかの理由でこの期限に間に合わない場合は、新学術領域研究・国際活動支援班事務局へ問い合わせること。

7. 書類送付先

名古屋大学大学院医学系研究科

新学術領域研究・国際活動支援班事務局

TEL: 052-744-2026/ FAX:052-731-8131

Email: int-pro-deme@med.nagoya-u.ac.jp

8. 派遣許可を受けた者は、旅行（出張）手続（名古屋大学の定める書式による）を進めるため、事務局と早急に連絡を取り合うこととする。

9. 学会参加にあたっては、学会会場や発表風景、海外研究者と一緒に写した

写真（会場内が撮影禁止の場合は、それ以外の場所での写真）を撮影し、2-3枚程度を国際活動支援班事務局へ提出すること。また、帰国後はすみやかに学会報告書（日本語で800〜1000字程度・書式あり）を事務局まで送付すること。

10.　その他、派遣内容についてのプレゼンテーションや記事の執筆を依頼することが　　　　　　　ある。